

土砂災害について

埼玉県立伊奈学園中学校

一年 一瀬 葵

ある日、SNSを見てみると、ある動画が流れてきました。土が混ざってにごった水と、それに流されていく家や木々。土砂災害の動画でした。一瞬にして変わっていく町の姿に、衝撃を受けました。ニュースで中継されている様子は見たことがありましたが、こんなに近いところからの動画は見たことがなく、画面越しでも恐怖を感じました。もし自分の地域にこんなことが起きたらと思うと、とても怖くなりました。そこで、土砂災害への対策と原因について調べてみることにしました。

土砂災害への対策として大切だと感じたことの一つ目は、自分が住んでいる地域の特性を知ることです。近くに山や川はあるかなど、地域のことを知っておく必要があります。また、ハザードマップで、土砂災害が起きた際の被災想定区域や避難経路なども確認しておくことが良いそうです。

二つ目は、家族との確認です。災害は突然やってきます。その時、家族全員が一緒にいるとは限りません。避難することになったときの避難(合流)場所や連絡方法、連絡先などを確認しておくことが大切です。

三つ目は、備蓄品、非常持ち出し品の用意です。食料品や生活用品以外に、モバイルバッテリーや、防寒着、防暑着の用意も必要なのだそうです。

対策だけでなく、地域の人との助け合い、「共助」も大切

であることがわかりました。

夏休みに、母の実家に行きました。そこで、防災士として活動している祖父に、土砂災害についての話を聞きました。祖父の住んでいる地域は山が多く、近くに川も流れているため、土砂災害が起きやすいのだそうです。土砂災害の場合、土や家などの下じきになってしまっている人の救助では、あまり機械を使うことができません。そのため、地域の方やボランティアの方と協力して、救助をしていたそうです。一刻を争う現場では、人の手が多いほど救助率も上がります。また、大変な中でも、助け合える人がいることは、とても安心できることだと思います。

次に、なぜ土砂災害が起きてしまうのか調べました。そもそも、自然災害には、自然要因と人為的要因の二種類があります。自然要因としては、太陽の活動、火山の噴火、海流の変動、地球の自転軸の傾きの変化などがあります。一方、人為的要因としては、温室効果ガスの増加、森林破壊などがあります。これらが原因で、地球温暖化が進行しています。地球温暖化が進むことで、土砂災害のリスクも高まっていくてしまいます。地球の気温が上がると、極端な気象現象が増えて、大雨や台風が頻繁に発生するようになります。このような激しい降雨が山間部に降ると、土壌が水を吸収しきれず、土砂災害が起きる可能性が高まってしまいます。特に日本のような山地の多い国では、このリスクがとても深刻です。地球温暖化による気候変動で、土砂災害を引き起こす頻度や規模を増大させてしまっているのです。つまり、土砂災害のリスクを減らすためにも、地球温暖化を食い止める必要があります。ということですが、地球温暖化を食い止めるために、日頃から節電や節水をきちんとするなど、一人一人が意識的に取り組むことが大切

です。

災害はいつ起こるかわかりません。予測ができない、怖いものです。だからこそ、実際に災害が起こってしまいう前に、対策が必要なのです。自分だけでなく、大切な家族や友人、地域の人々を守るために、準備、確認をしつかりとしましょう。また、地域の人との関わりを増やし、いざというときに、お互いを助け合えるようにしましょう。

災害は止めることはできませんが、減らすことはできます。一人一人の、自然環境に対する配りよで、地域も、日本も、少しずつ変わっていくと思います。他人事ととらえず、自分から行動してみませんか。